

指定管理者に係る令和６年度事業報告書及び令和７年度事業計画書について (熊 谷 ス ポ ー ツ 文 化 公 園)

指定管理者：公益財団法人埼玉県公園緑地協会（令和６年度～令和１０年度）

１ 令和６年度事業報告書の概要

（１）管理業務の実施状況

ア プロトップスポーツチームのリーグ戦及び大規模競技大会（ラグビーリーグワン、WEリーグ、サッカー皇后杯、彩の国実業団駅伝）など、試合・大会会場としての適正かつ円滑な運営を行った。

イ スポーツの普及・啓発を目的として、各スポーツ（テニス・サッカー・ラグビー）の体験教室の実施や熊谷ラグビーロードフェスティバルを開催した。

ウ 快適な緑環境とレクリエーション拠点機能を維持するため、樹木の管理方針を定め、当方針に基づく園地管理を実施した。

エ 事件や事故を未然に防止するため、職員による園内巡回を毎日実施するとともに、常時公園内の施設・設備等の状態や公園利用者の動向が把握できる体制を徹底した。

オ 「熊谷スポーツ文化公園危機管理マニュアル」に基づき、利用者の安全確保、施設の被害状況の確認、二次災害の防止措置などを行った。

（２）施設の利用状況

施設名	R2	R3	R4	R5	R6
体育館	28,943 人	59,801 人	96,679 人	118,488 人	92,404 人
陸上競技場	183,255 人	207,373 人	193,966 人	265,383 人	289,685 人
屋内運動施設(ドーム)	57,161 人	103,075 人	129,713 人	163,173 人	105,461 人
ラグビー場	38,741 人	92,581 人	190,995 人	240,927 人	218,139 人
ソフトボール場	4,945 人	7,144 人	8,223 人	7,583 人	7,982 人
グラウンドゴルフ場	418 人	1,236 人	1,023 人	1,078 人	4,032 人

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止による休止期間

体育館、屋内運動施設(ドーム)：令和2年4月1日～6月30日

陸上競技場、ラグビー場、ソフトボール場、グラウンドゴルフ場：令和2年4月8日～6月15日

※ 彩の国くまがやドーム照明更新工事による休止期間

令和6年11月11日～令和7年3月31日

(3) 収支状況

(単位：千円)

項 目	決算額 a	予算額 b	決算額と予算額の比較		備考
			差額 c=a-b	差額の発生理由	
指定管理料	574,584	576,088	△1,504	エネルギー価格高騰に伴い増額した 予算について、精算による減	
利用料金収入	105,757	102,914	2,843	プロラグビー試合追加による増	
その他収入	42,835	49,226	△6,391	ナショナルトレーニングセンター 利用減による減	
収入合計	723,176	728,228	△5,052		
人件費	128,592	118,631	9,961	給与改定による増	
事業費	576,577	609,597	△33,020		
支出合計	705,169	728,228	△23,059		
収支差額	18,007	0	18,007		

2 令和7年度事業計画書の概要

(1) 基本的な考え方

- ア 誰もが快適に利用できる高水準の競技環境を提供するとともに、公園にあるスポーツ施設ならではの観戦体験・応援の楽しさを提案し、次も利用したいと感じてもらえる拠点づくりに取り組む。また、スポーツ・健康づくりを始める機会を創出する。
- イ 快適で緑豊かな自然や季節の移ろいを感じられる空間を整え、公園資源を活かしたレクリエーションプログラムを提供する。また、公園の魅力を見える化し、発信する。
- ウ 「スポ文講座」をはじめとする熊谷スポーツ文化公園ならではの文化に触れ楽しむ機会を提供する。また、公園を核として、熊谷周辺地域が活性化する取組みを展開し、地域の方々が活躍する場や機会を創出する。
- エ 施設の安全点検や危機管理体制を強化し、防犯に配慮した公園づくりを進め、利用者の安全・安心を確保するとともに、快適に利用できる環境を構築する。また、公園の魅力向上のために、利用者目線に配慮した管理運営に努める。

(2) 事業計画

- ア ラグビーリーグワンやWEリーグ、東日本実業団陸上競技選手権大会といったプロトップスポーツチームのリーグ戦や大規模競技大会に加え、eスポーツやアーバンスポーツなど、新たなスポーツの利用促進・誘致を行い、多彩なスポーツ観戦体験を提供する。
- イ 春のネモフィラ、夏のひまわりをセラピーガーデン等に演出し、新たにデッキテラスを設置することで花を眺めながらコーヒーなどを楽しめる憩いの場の創出に向け取り組む。
- ウ 「スポ文講座」やラグビー場スタジアムツアーなどを実施し、様々な文化活動に触れる・体験する機会を提供する。学生の美術作品等を大会時に展示する機会を設け文化に触れる機会を創出する。
- エ 他公園の危機管理情報やお客様からの要望などについての情報共有を密に行い、トラブルに適切に対応するとともに、利用者のニーズを把握し公園運営に速やかに反映させるため、組織体制の強化を図る。

(3) 収支予算書

(単位：千円、%)

項 目	当年度予算額 a	前年度予算額 b	増減額 c=a-b	増減率(%) c/b*100	備考
指定管理料	580,738	576,088	4,650	0.8	
利用料金収入	123,549	102,914	20,635	20.1	くまがやドーム再開に伴い増
その他収入	50,728	49,226	1,502	3.1	
収入合計	755,015	728,228	26,787	3.7	
人件費	130,972	118,631	12,341	10.4	最低賃金の上昇による人件費の増
事業費	624,043	609,597	14,446	2.4	
支出合計	755,015	728,228	26,787	3.7	
収支差額	0	0	0		

(4) 執行体制【25名】

- 総括責任者（所長）（1）〈公園運営を主管する。〉
 - ―― 企画運営課（14）〈事業の企画運営や許可事務等を行う。〉
 - ―― 施設管理課（10）〈施設管理業務を行う〉

(参 考)

○公園の概要

埼玉県を代表するスポーツ施設公園として、くまがやドーム、陸上競技場、ラグビー場などを設置している。（供用面積88.3ha）

○開設年月日 平成3年4月1日